危機管理監 資　　料	Ｎｏ．２

令和７年10月17日
課　名　危機管理監みんなで減災推進課
担当者　課長　橋本
内　線　2780

広島県「みんなで減災」備えるフェアの実施について

１　要旨・目的

広島県「みんなで減災」県民総ぐるみ運動の一環として、非常持出品や備蓄品、家具の転倒防止対策など、いつどこで起きるか分からない、大雨や地震などの「災害への備え」を県民に促すため、次のとおり、広島県「みんなで減災」備えるフェアを開催する。

２　現状・背景

毎年２回（６月、１月）広島県「みんなで減災」県民総ぐるみ運動の一環として県民が日常的に訪れる店舗等において、防災グッズや関連商品のＰＲを県内一斉に行うキャンペーンを展開している。

県民に、災害への備えや命を守る行動について知ってもらい、防災グッズや日常備蓄品等を備えてもらうことを目的とし、平成24年度から実施している。

３　概要

（１）実施主体

協賛企業・団体　（参考：令和７年６月　県内108企業・団体、2,429店舗）

（２）実施期間

令和８年１月10日（土）から令和８年１月26日（月）までの17日間

※一部店舗において実施期間が異なる。

（３）場所

協賛企業・団体の各小売店舗（スーパーマーケット、ホームセンター、家電量販店等）

（４）実施内容

協賛企業・団体の協力を得て、多くの県民が日常的に訪れる小売店舗において、ローリングストック法※の推奨なども含め、次のとおり実施する。

○　ポスター掲示、チラシ配布等による、地震などの災害から命を守るための確認事項や家具の転倒防止対策、非常持出品の準備など、災害への備えの啓発

○　特設コーナーの設置や商品ポップ等による、防災に役立つ商品の周知

※　ローリングストック法：普段食べている食料品等を多めに買い置きし、使いながら使った分を買い足し、いざという時のために備える備蓄方法

４　その他（周知方法）

- テレビ・ラジオ等と連携した放送
- ポータルサイト「「みんなで減災」はじめの一歩」への掲載
  URL：https://www.gensai.pref.hiroshima.jp
- 協賛企業と連携したSNSによる情報発信
- 店舗と連携したフェアの目印の掲示（別紙 参照）　など

（参考）店舗に掲示してもらうフェアの目印

ポスター

リーフレット

スイングポップ

レールポップ（棚札）

トップボード

※ 掲載の広報物画像は現時点でのイメージで、デザインは変更する場合があります